

# 学術局研究支援委員会主催「PTの研究力を高める研究支援セミナー」のご案内

## 第10回「採用に導く論文作成・投稿のいろは part II」

日時：2022年3月20日（日） 9:30～12:00

会場：オンライン（パソコンやタブレットなどの端末とインターネット環境が必要）

対象（受講者条件）：千葉県理学療法士会会員限定

内容：1. 症例報告の書き方のポイント

2. 症例報告の実際・運動器領域の症例報告を書くコツ

参加費：無料

申込方法：専用の申込フォーム（下のQRコード、URL）からお申込みください

申込締切日：2022年3月16日（水）

※お申し込みされた方のメールアドレス宛に受講URLをお送りします。途中入室・途中退室も可能です。

※本セミナーは、新プロや生涯学習研修会と異なり、受講しても履修ポイントは付与されません。ご了承ください。

## 第10回セミナー「採用に導く論文作成・投稿のいろは part II」 概要

荒井 沙織（了徳寺大学）

「症例報告」の作成は、理学療法士になって最初の登竜門とされることが多いと思います。症例報告は「新人理学療法士がやるもの」ではなく、ベテランセラピストから新人セラピストまで全ての臨床家が、必要性和重要性を理解し行っていくものです。そして多くの症例報告の積み重ねが論文作成へと繋がり、新たな治療介入へと結びつくのです。しかし、臨床では症例報告の重要性がまだ浸透していないのが現状です。本セミナーでは、症例報告とは何か、どのように作成していくのか、その意義と重要性・ポイントをお伝えします。是非ご参加ください。

深田 亮（千葉大学大学院医学研究院整形外科学/千葉大学医学部附属病院）

症例報告に限らず医学論文は個々の理学療法士が日々の臨床で得た知見を医学という巨大な学問体系に還元するために書くものです。特に症例報告は臨床で新しい知見を発見する技術が高まり、臨床能力も向上するといった正のフィードバックに繋がり、これを実践できる理学療法士の臨床値は高いと思います。

本講座では、症例報告を作成するにあたりポイントや注意点などを解説します。また、これまでに学会発表などで経験した症例報告作成を例に、作成中の苦戦や失敗、改善による成功などの体験談をお話します。是非、ご参加お待ちしております。



<https://forms.gle/N2AkYARMy8eoLXgF6>

研究支援セミナー事務局（お問合せ先）

大山隆人（西川整形外科）

[kenkyu.sienbu@gmail.com](mailto:kenkyu.sienbu@gmail.com)